

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第8回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

・地域との意見交換会について（公開）

○その他（公開）

## 3 開催日時

令和3年3月24日（水）午後6時00分から午後7時00分まで

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊

・事務局：板倉区総合事務所 米持所長、宮腰次長（総務・地域振興グループ長兼務）、笠松次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、村山地域振興班長、  
（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

【宮腰次長】

・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・挨拶

**【米持総合事務所長】**

- ・挨拶

**【平井達夫会長】**

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。  
4 協議 地域との意見交換会について、事務局に説明を求める。

**【村山地域振興班長】**

- ・資料により説明

地域との意見交換について、平成24年に実施した時と同じような方法で考えている。事務局としては地域活動支援事業の審査終了後の6月から9月ごろの開催を考えている。

活動団体との意見交換は新規の取組である。各部会で意見交換する団体の例としては、地域振興部会であれば町内会や板倉まちづくり振興会、健康福祉部会であれば社会福祉協議会や民生委員、産業建設部会であれば商工会や観光公社が考えられる。

実施方法や時期についてご意見をいただきたい。

**【平井達夫会長】**

質問、意見を求める。

**【庄山健委員】**

地域との意見交換のテーマは、公の施設の再配置計画に掲載されている、やすらぎ荘の取扱いをテーマにした方がよいと思うがどうか。

**【関根産業G長】**

公の施設の再配置計画は2月に策定されたが、市内8か所の温浴宿泊施設については「引き続き協議」となっている。再度、市としても地域に出向き話をお聞きする予定である。

**【平井達夫会長】**

地域とは具体的にどういう範囲か。校区か町内会か。

**【関根産業G長】**

今回の地域協議会が予定している意見交換会と同じ6地区が妥当と考えている。

また、その他に前回やすらぎ荘ファンクラブや商工会、板倉まちづくり振興会にも一度説明をさせていただいているので、再度、意見をいただきたいと考えている。

**【長藤豊委員】**

地域との意見交換の場で「地域の課題は何かありませんか」と言ってもスムーズには進まないと思う。事前に6地区に連絡して、どのようなテーマがよいか検討していただき、テーマをあげてもらうのはどうか。

**【平井達夫会長】**

長藤委員から、事前に連絡してテーマを検討してもらおうという意見が出たが、これについて他の委員に意見を求める。

**【池田光男委員】**

私は筒方地区だが、光ヶ原高原など地区でも課題があるのでその方がよいと思う。やすらぎ荘は区の全体の課題だが、できれば各地区の問題点を掘り下げた方がよいと思う。

**【平井達夫会長】**

やすらぎ荘は全地区で、その他各地区の課題も取り上げるということか。

**【植木節子委員】**

総合事務所の説明の他にも、やすらぎ荘に関わっている担当の方の話を聞き、有意義な会にしていきたい。今までの取組や、やすらぎ荘を守りたいという熱意を語ってもらいたい。

**【小林政弘委員】**

進め方が課題であり長藤委員の意見のやり方でよいと思う。意見交換を自由にしたときに、出た意見をどのようにまとめていくのか見えないので考え方を聞きたい。

**【村山地域振興班長】**

意見交換会で出た意見については項目ごとにまとめて委員にお示しし、今後どのように自主的審議をしていくのか、別の場で協議していただくことになる。

**【西田節夫委員】**

以前、地域との意見交換会を実施したときは、テーマを決めずに地区においてどんな課題があるか出してもらった。そこで出たいろいろな課題をまとめ、3つの部会に割り振って検討し、地域協議会で報告した。6月から行うのであれば、各地区

連絡協議会の会長に、この地区ではどんなことを悩んでいるか話し合っておいてもらって、出してもらい、我々が中に入っていったらどうか。その方が話しやすいのではないか。

**【平井達夫会長】**

地区連絡協議会でその地区の課題をあらかじめまとめ、地域協議会に出してもらおうという意見が出た。

他の委員の意見を求める。

**【田中睦夫委員】**

地域との意見交換には西田委員の意見に賛成である。進め方についてだが、活動団体との意見交換については、部会で内容を検討し、優先的に進めていったらどうかと思う。地域との意見交換は、テーマを各地区から地域協議会に6月から7月を目途に出してもらい、部会の方は部会で団体と意見交換を行う2本立てでやったらどうか。

**【平井達夫会長】**

地域との意見交換、活動団体との意見交換の2本立てという意見が出たがどうか。

**【植木節子委員】**

賛成である。私の身近でいろいろな困った問題がある。友達からも聞いている。やすらぎ荘の問題の他にも身近な問題に取り組みたい気持ちもある。2本立てがよいと思う。

**【平井達夫会長】**

他にどうか

**【西田節夫委員】**

進め方は2本立てでよいと思う。この前、パブリックコメントの中で板倉から33件の意見が出た。その中でも多くは光ヶ原高原や、やすらぎ荘についてであった。これについては板倉区全体の課題である。活動団体に来てもらって議論したほうがよいと思う。

**【平井達夫会長】**

それでは、地域との意見交換と活動団体との意見交換の2本立てで行うこととしてよいか。

(異議なし)

2本立てで意見交換を行うこととして事務局で準備してほしい。

他に意見はないか。

(意見なし)

次に「その他」、私の方から板倉小学校設置推進協議会について報告する。私はオブザーバーとして参加した。第9回板倉小学校設置推進協議会が3月10日に板倉農村環境改善センターで開催され、最後の全体会議となった。出席メンバーは4校区代表、校長、保育園代表者、オブザーバー、事務局として教育委員会、総合事務所で、24人全員出席であった。小林会長の挨拶の後、議事に入った。校歌・校章、通学、PTA組織、後援会組織の4つの検討委員会の委員長から、審議状況の報告があった。また、その他の報告としてスクールバスの試乗状況、PTA役員、後援会役員候補の決定の報告があり、新しい板倉小学校の校旗がお披露目された。板倉小学校は、4月9日の入学式の前に開校式を実施予定であり、板倉小学校設置推進協議会は開校式をもって解散することとした。報告は以上であるが、小林委員から補足説明があればお願いしたい。

**【小林政弘委員】**

予定どおり4月に開校することになった。今まで地域協議会の皆さん、総合事務所の皆さんにも大変ご協力いただいた。感謝申し上げます。

**【平井達夫会長】**

米持所長から何か補足あるか。

**【米持総合事務所長】**

皆さんのこの間のご協力に感謝する。子どもたちが明るい未来に向かって仲良く過ごしてくれることを願っている。

**【平井達夫会長】**

以上で報告を終わる。続いて板倉区総合事務所の人事異動について報告を求める。

**【米持総合事務所長】**

- ・板倉区総合事務所の人事異動について説明
- ・米持総合事務所長、笠松次長、宮腰次長、村山地域振興班長が挨拶

**【平井達夫会長】**

異動する職員から挨拶いただいた。その他事務局から何かないか。

**【宮腰次長】**

自治・地域振興課から『地域協議会に関する意識調査の結果』が委員の皆さんのところに届いていると思う。このことについて、昨年4月から委員になっている方もいるので、少し補足をさせていただく。地域協議会に関する意識調査は、前任期の委員を対象に行ったもので、昨年2月以降に、地域協議会の開催日にあわせて調査票を配付し、活動を振り返っていただきながら、それぞれの委員の率直なご意見やお考えをお聴きしたものである。自由記述の内容を市では全て拝見させていただき、記載いただいた1件1件を趣旨ごとに区分させていただいた。意識調査は、委員の8割を超える313人の方からご回答をいただいた。皆さんにお届けした報告書は、313人のご意見、お考え等を設問ごとに整理し、その一部を紹介したものである。ぜひご一読いただければと思う。また、委員の皆さんにお配りしていないが、全意見を掲載した資料もご希望であれば後日ご用意させていただくので、事務局へお声がけいただきたい。今後、いただいたご意見をもとに、地域協議会の運営・活動に必要な改善、取組みを行っていく予定である。

次に、いたくら文化研究会の板倉今昔説話集が完成したことから、委員の皆さんに配布した。冊子は、板倉コミュニティプラザ、板倉中学校、ふしんの里記念館、やすらぎ荘のほか、関係者に配布したとのことである。また、会の方からは報告会に出席できず申し訳なかったとお詫びの言葉があった。

3月議会が終了し、令和3年度予算が確定したことから、地域活動支援事業の令和3年度板倉区概要版を全戸配布した。委員の皆さんには、事業概要と提案様式、Q&Aを配布した。

最後に、前回の地域協議会で、新年度に入ったら地域活動支援事業の勉強会を行うこととなっていた。次回の地域協議会は、4月22日木曜日の午後6時から板倉コミュニティプラザで令和3年度の地域活動支援事業のスケジュールについて協議することとし、その後、地域活動支援事業の採点方法等についての勉強会を開催したいと考えているので、よろしく願いしたい。

**【平井達夫会長】**

委員の方から他にないか。

**【下鳥治委員】**

地域活動支援事業について、委員になってからいろいろと勉強させていただいた。先日、現市長が11月に辞められるという新聞記事を見た。本日の会議資料では、地域活動支援事業の全体の予算が1億8千万円とあったが、地域活動支援事業の今後の取り扱いについて、上越市は事務事業の見直しを行っているので、来年度以降も事業が行われるのか心配している。また、各区の温度差も感じている。令和4年度以降どうなるのか、方向付けがされているのか教えてほしい。

**【米持総合事務所長】**

令和3年度については予算が3月議会で可決した。板倉区においては640万円が配当される。単年度予算なので、次年度以降については未定である。

**【下鳥治委員】**

単年度予算ということは分かった。私たち13区の中山間地域では地域活動支援事業のお金は大切なものと思っている。板倉区だけでなんとかしてくれと言っても難しい問題だと思うが、板倉区の他いくつかの区で地域活動支援事業を継続するように市に対して何か取組ができないかと思っている。

**【小林政弘委員】**

地域活動支援事業は継続してもらいたいと思っているが、活動報告会に出席し、質疑応答の中で質問に対しての回答の仕方が丁寧でなかったものがあったと感じた。時間的な制約もあるが、活動するのであればレベルを上げてもらいたいと思った。皆さんがどう思われたかわからないが、来年度の報告では各団体5分ではなくて、もう少し意見交換ができるような配慮をしてほしい。

**【田中睦夫委員】**

私も去年からスタートした委員である。今まではヒアリングがあったが、今年度はコロナの関係でヒアリングがなかった。ヒアリングがあればお互いの話ができ良かったのだが書類だけの審査であった。令和3年度の採択に向けては、きちんとヒアリングをして勉強しながらやっていければいいと思う。

**【西田節夫委員】**

先ほど所長から職員の異動について説明があったが、口頭ではなく職員配置図など書面で教えてほしかった。また所長、次長2人が一度に代わってしまうが、これ

でよいのかと思った。

**【庄山健委員】**

地域活動支援事業の今後を私も心配しているが、財政の関係もあるので今は何とも言えないだろうと思っている。形は残っても金額は下がっていくのではないかと  
思う。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【長藤豊委員】**

私は栗沢から指名されている防災士である。先週、集落で火災があった。その際に気になったことがあり、皆様にも地元で確認してもらいたいのだが、一か所の消火栓のホースでは足りなくなって他の消火栓のホースを持ってきて繋げて使用したということがあった。皆さんも各地区に戻ったら確認してもらいたい。

**【平井達夫会長】**

他にないか

**【田中睦夫委員】**

産業建設部会の第2回会議を行ったので概略を話す。産業建設部会は古川副会長、下鳥委員、庄山委員、植木委員、田中で構成されている。2月8日に今後の進め方を話した。事務局からは村山班長と瀬戸主事も参加していただいた。産業建設部会は光ヶ原高原の問題の他にもやすらぎ荘、ゑしんの里など取り組む範囲が幅広いので、近いうちに具体的に絞って関係者との打ち合わせをしながら、取組の方向付けをしていきたいと思っている。

**【平井達夫会長】**

- ・ 次回の地域協議会は4月22日に開催
- ・ 会議録の確認は田中委員に依頼

**【古川政繁副会長】**

- ・ 挨拶

**【宮腰次長】**

以上で、第8回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：[itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。